

令和2年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果の概要

(各調査結果の**白抜き数字**は本校の結果)

「埼玉県学力学習状況調査」

○今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、3年生の全国学力学習状況調査と新体力テスト全国集計が実施されませんでしたので、埼玉県学力学習状況調査が、学習面における昨年度の頑張りや成果になります。本調査は、生徒一人一人の学力の伸びや学習に対する意識や生活の様子等がわかるように調査しています。

学年・教科	1年生		2年生			3年生		
	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
本校	58.4	56.0	65.4	63.5	59.2	71.2	53.1	50.2
学力レベルと前年からの伸び率±→	8-C	7-C	8-A +2	8-B +2	9-B *	9-C +2	8-C ±0	9-A +3
狭山市	59.2 8-C	58.2 7-C	63.3 8-B	60.2 8-C	57.7 9-B	70.7 9-C	56.7 8-B	55.0 10-C
埼玉県	61.1 8-C	60.2 7-B	63.8 8-B	58.6 8-C	57.3 9-B	72.7 9-C	57.7 8-A	55.7 10-C

＜実施日＞ 令和2年6月29日（月） ※正答率：各問いに正しく答えた割合

※学力レベル：学力平均値を最高12までのレベルに細分化した数値（1-C、1-B、1-A・・・12-C、12-B、12-A）で示されます。

「普段の勉強に関する質問」

「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合(%)

Q. あなたは勉強する理由について、どのように考えていますか？ ↑↓前年比

勉強することが楽しい、好きだから。			
	中1	中2	中3
本校	65.2	54.3 ↓	41.6 ↑
同一学年の昨年度	*	77.7	41.3
狭山市	62.9	39.7	38.9
埼玉県	57.6	38.3	33.9
将来の進学や就職の役に立つから。			
本校	96.1	96.6 ↑	93.4 ↓
同一学年の昨年度	*	95.7	95.7
狭山市	94.6	94.7	95.9
埼玉県	95.2	95.1	96.2

Q. あなたは、普段の勉強のやり方について、どうしていますか？ ↑↓前年比

勉強するときは、自分で決めた計画に沿って行う。			
	中1	中2	中3
本校	55.1	53.7 ↓	45.4 ↓
同一学年の昨年度	*	64.7	46.7
狭山市	53.6	46.4	48.2
埼玉県	54.4	49.2	45.7
学校の授業の予習や復習をしていますか。			
本校	87.6	80.0 ↓	71.0 ↑
同一学年の昨年度	*	86.4	50.5
狭山市	75.5	56.2	59.0
埼玉県	73.9	63.0	59.1

Q. 学校の授業以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか

1. 3時間以上 2. 2時間以上、3時間より少ない 3. 1時間以上、2時間より少ない
4. 30分以上、1時間より少ない 5. 30分より少ない 6. 全くしない

	1	2	3	4	5	6
本校1年	11.2	24.2	43.3	14.0	4.5	0.6
狭山市	11.0	20.5	36.0	21.3	7.0	3.2
埼玉県	14.4	27.1	35.3	15.8	4.9	1.9
本校2年	14.9	26.3	37.1	12.0	8.0	1.7
狭山市	8.2	21.8	37.6	19.2	8.4	4.3
埼玉県	10.7	26.0	34.8	17.1	7.1	3.6
本校3年	9.8	35.5	25.7	18.0	7.7	2.7
狭山市	16.4	29.2	29.1	13.0	7.9	4.0
埼玉県	19.1	33.4	29.0	10.4	4.6	2.9

<勉強に影響が出そうな気になる項目>

Q. 普段、1日当たりどれくらいの時間、TVゲーム、携帯ゲームをしますか

1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない 5. 1時間より少ない 6. 全くしない

	1	2	3	4	5	6
本校1年	13.5	12.9	22.5	26.4	11.8	11.8
狭山市	16.3	14.3	20.4	24.0	15.9	8.2
埼玉県	16.6	13.3	21.7	23.7	16.1	8.1
本校2年	10.3	14.3	15.4	22.9	22.3	14.3
狭山市	15.5	14.6	22.1	22.7	15.4	9.3
埼玉県	17.4	14.4	23.0	21.6	14.3	8.9
本校3年	14.8	14.8	26.2	18.0	14.8	11.5
狭山市	13.5	12.6	23.2	21.4	15.6	13.4
埼玉県	15.2	12.9	21.9	21.5	15.6	12.4

Q. 普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯やスマホで通話やメール、インターネットをしますか

1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない 4. 1時間以上、2時間より少ない
5. 30分以上、1時間より少ない 6. 30分より少ない 7. けい帯電話やスマートフォンを持っていない

	1	2	3	4	5	6	7
本校1年	12.4	5.6	11.8	13.5	15.2	14.0	25.3
狭山市	10.9	6.2	11.9	14.3	14.3	16.2	25.4
埼玉県	9.9	7.9	13.6	18.2	15.7	17.2	16.9
本校2年	10.3	12.6	13.1	14.3	9.1	18.9	21.1
狭山市	11.1	9.4	14.2	16.4	12.0	15.7	20.9
埼玉県	11.5	8.9	15.8	19.0	15.3	17.4	11.6
本校3年	11.5	13.7	15.3	21.9	9.3	15.3	12.6
狭山市	10.2	9.4	16.7	19.7	12.9	17.7	13.1
埼玉県	11.1	9.7	17.0	20.3	15.7	17.6	8.3

<規律ある態度>

「よくできる・だいたいできる」と回答した生徒の割合(%)

○埼玉県が示す「規律ある態度」は12項目。県平均を上回る又は同等の項目(白抜)は、1年生10項目、2年生11項目(1年時比±0)、3年生6項目(2年時比+3)。台中ブランドとしている「⑤あいさつ」は、2,3年生が県平均を下回り残念です。「⑫清掃」は、全学年で県平均を大きく上回る結果でした。2段目の数値は同学年の前年(H31:R1)度の数値です。**学年が一つ上がったのに前年数値を下回った項目(赤字)**は学年毎に見直し項目です。

内容	1段目:今年度 2段目:昨年度 (同一学年の前年数値)			内容	1段目:今年度 2段目:昨年度 (同一学年の前年数値)					
	3段目:狭山市	4段目:埼玉県	中3		3段目:狭山市	4段目:埼玉県	中3			
けじめのある生活ができる	時刻を守る	①登校時刻	100	98.9	97.3	礼儀正しく人と接 することができ る	⑦ていねいな言葉づかい	96.6	97.1	90.7
		☆十か条4項 時間を守る	97.7	97.5	97.2		☆十か条7項 正しい言葉遣い	90.3	93.2	92.8
		②授業開始時刻	98.3	98.9	98.9		⑧やさしい言葉づかい	93.3	91.4	89.1
		☆十か条4項 時間を守る	97.5	98.4	98.2		⑨学習準備	94.9	98.3	95.1
	身の回りの整理 整頓をする	③靴そろえ	89.3	97.1	93.4	約束やきまりを守 ることができる	⑩話を聞き発表をする	79.8	84.6	70.5
		☆十か条6項 整理整頓	79.5	81.9	84.8		☆十か条2項 人の話をしっかり聞く	75.4	75.1	76.2
		④整理整頓	78.1	86.3	82.0		⑪集団の場での態度	96.6	97.1	96.7
		☆十か条6項 整理整頓	79.5	81.9	84.8		☆十か条10項 時と場に依じた行動	92.5	94.9	94.9
	礼儀正しく人と接 することができる	⑤あいさつ	84.8	80.0	75.4	約束やきまりを守 ることができる	⑫掃除・美化活動	91.0	93.7	88.0
		☆十か条1項 明るいあいさつ	82.1	84.4	84.9		☆十か条9項 無言清掃	83.3	85.2	85.3
⑥返事		91.0	93.7	85.2						
☆十か条1項 元気な返事		88.0	89.5	88.6						

※表中の☆印は「狭山台中当たり前十か条」との関連項目

一 明るいあいさつ、元気な返事。

- ・あいさつは明るく自分からしよう。名前を呼ばれたら元気に「はい」と返事をしよう。
- ・人の話をしっかり聴く。
- ・授業中先生の話を集中して聴き、他の人の意見を静かに聴こう。

二 思いやりの心。

- ・人間関係に潤いが生まれるような温かい言葉がけをしよう。友達に優しい態度で接しよう。

三 時間を守る。

- ・チャイム前着席、給食準備、清掃開始など、時間を守って生活しよう。

四 正しい服装。

- ・学校の決まりを守って、正しい身だしなみを心がけよう。

五 整理整頓。

- ・机やロッカーの中、靴をそろえる等、身の回りの整理整頓を心がけよう。

六 正しい言葉遣い。

- ・礼儀正しく、しっかりと敬語を使おう。

七 自分の役割を果たす。

- ・係、委員会や当番などの自分の役割をしっかりやりと果そう。

八 無言清掃。

- ・清掃中は黙って、一生懸命隅々まできれいにしよう。

九 時と場に依じた行動。

- ・人の集まる場所では静かに参加し、無言入退場しよう。

十

Check!

令和2年度 埼玉県学力・学習状況調査

実施教科の分析と対策

		分析結果	対策
国 語	1年	全体的に県や市の平均を下回っている。漢字の訓読み、文章中の空欄に適語を入れる問題、敬語の使い方については概ね良い結果である。漢字の音読み、漢字の書き取り、文法に関する問題の正答率が低かった。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間漢字ワークを活用して、正確に漢字を覚えて、丁寧に書く習慣をつけさせる。 ・文章を読んでまとめる練習を授業の中に取り入れる。 ・自分の考えを適切な言葉で表現する習慣をつけさせる。 ・文法の基礎演習をたくさん行う。 ・定期テストに課題作文を出題する。
	2年	全体的に県や市の平均を上回っている。観点別に考察すると、「書く」観点飛びぬけて良い。記述式の問題も結果が良いので、定期試験による課題作文の成果が表れていることが考えられる。「話す・聞く」「言語についての知識・理解・技能」に関しては、県平均を上回ってはいるものの、「書く」と比較すると低めだった。また、領域別に見ると、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」も低めだった。古典に対する苦手意識が結果に出ていると考えられる。 結果は県平均より上回っているものの、学力の伸びに関しては県平均を下回っていた。	<ul style="list-style-type: none"> ・「書く」 定期試験の課題作文は継続的に取り組ませていく。 ・「話す・聞く」 スピーチや聞き取りの活動の時間を定期的に確保し、学習の積み重ねを図る。 ・「言語についての知識・理解・技能」 定期試験だけではなく小テストも取り入れて、長期的な記憶に残るようにする。 ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 古典の導入部分を工夫し、興味・関心を惹き、主体的な姿勢を育む。
	3年	全体的に県の平均を下回っている。記述式の問題（課題作文）は平均を上回った。1年生から定期テストで課題作文に取り組ませていることが要因だと考えられる。漢字、文章中の空欄に適語を入れる問題、文脈の読み取りに関する問題が特に正答率が低かった。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字力・語彙力を確実に身につけさせる取り組みや生活の中でも使えるようにする取り組みを充実させる。 ・確実に「読解力」「要旨」「古文の仮名遣い」等を身につけさせる指導の工夫をする。 ・文法の演習問題を繰り返し行う。 ・定期テストに課題作文を出題する。
		分析結果	対策
数 学	1年	全体的に県平均を下回っている。特に量と測定の問題である速さの単位の問題や、分数の除法などの問題の正答率が低かった。逆に図形の面積を求める技能の面や長さを求める内容は他の領域と比較するとよくできていた。	<ul style="list-style-type: none"> ・計算問題の反復練習を取り入れ、計算能力の向上、基礎基本の定着を図る。特に分数少数の問題を練習していく。 ・図形問題をたくさん解かせ、得意な面を伸ばしていく。
	2年	全体的に県平均を上回っている。特に関数や資料の整理は休校期間中の課題で復習したことや直前に確認をする場面があったことが要因と考えられる。国語の書く能力が高いことが、数学でも記述式の問題へ取り組むことに影響があると考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の伸ばした生徒の割合は低いので、問題に多く触れ、基礎基本の定着を目指していく。
	3年	全体的に県平均を下回っている。特に、文字式の計算や連立方程式など1・2年生の基本的な内容といえる部分に対して正答率が低い傾向がある。しかし、2年生の後半に取り組んだ内容や3年生に入ってから扱った単元では県と同程度の正答率である。	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の内容を学習すると並行して、1・2年生の内容の復習に取り組むことで基礎基本の定着を目指す。また、単元同士のつながりを見出す活動を行い、発展・応用問題に対応したい。

		分析結果	対策
英語	2年	<p>領域別の分析</p> <p>〈聞くこと〉 県平均正答率より+2.5%。 〈読むこと〉 県平均正答率より+2.7%。 〈書くこと〉 県平均正答率より-1.0%。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に言語や文化についての知識・理解の観点で課題が見られる。 ・設問形式を見ると、短答式の問題が県平均正答率より-6.0%。 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたテーマや条件を英語で表現できるように、英作文に取り組む機会を増やしていく。 ・文法、語彙の力をつけるため、問題演習を適宜取り入れ、繰り返し指導していく。 ・定期テスト等で、身に着けた知識を活用で消え入るか図るため、問題を工夫する。
	3年	<p>〈教科書の領域〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞くこと：県平均より-5.1%。 ・読むこと：県平均より-4.9%。 ・書くこと：県平均より-7.6%。 <p>〈評価の観点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語g表現の能力：-6.3%。 ・外国語理解の能力：-4.9%。 ・言語や文化についての知識・理解：-6.1% <p>〈総合的な評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの項目も県平均より低かったが、正答率が唯一県平均より高かったのが適語補充の問題（形容詞）であった。（+4.1%） ・H31がレベル8-Aであったのに対し、R2では9-Aとなり、昨年度からの学力の伸びは+3となった。 	<p>〈領域について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞くことができないため、音読なども自信がないことが見受けられる。授業では、丁寧に音読の指導をしている。 ・読むことについては、習得している語彙数が少ないように思える。正しく書けることよりも読んで意味が分かる語を増やすことを指導している。 ・書くことについては、読むことと同じく語彙力の問題もあるが、基礎的な文法が定着していない生徒が多い。ノート作成や自己評価カードにおける英作文の指導を丁寧に行う。 ・文法事項が難しくなってきた段階であるが、既習事項を復習しながら受験対策を行う。